

ここにもいた！宮崎県椎葉村の国有林でニホンモモンガの撮影に成功

要約

2008 年 8 月末、宮崎県椎葉村の国有林において、県の絶滅危惧種ニホンモモンガが撮影されました。ニホンモモンガは齧歯目リス科に属する日本固有の野生動物で、熊本県と宮崎県で絶滅危惧 IB 類に区分される絶滅危惧種です。昨年、熊本県と宮崎県で約 30 年ぶりに生息が確認されましたが、今回の撮影成功で、九州における新たな生息地がみつかりました。

本文

- ・ニホンモモンガをはじめとする樹上性の哺乳類は、天然林を主なすみかとしているため、天然林の減少を原因として絶滅が危惧されています。どのような場所に今も生息しているのか、よく分かっていません。ニホンモモンガは小さく夜行性であるため、野外での観察が難しく、効率的な調査手法の開発が求められています。
- ・2008 年 7 月より、宮崎県椎葉村の国有林（宮崎北部森林管理署管内）において巣箱と自動撮影カメラ 12 台を用いた生息調査を行っています。
- ・巣箱のなかには誘引餌（ヒマワリとオニグルミの種子）が入っており、巣箱を訪れる動物が自動撮影カメラの赤外線センサーに感知されると写真が撮影される仕組みです。
- ・写真のニホンモモンガは、標高 900 m に設置した自動撮影カメラにより 2008 年 8 月 31 日午前 3 時 52 分に撮影されたものです。成獣で、性別は不明です。この調査地では、他に天然記念物のヤマネも撮影されました。
- ・ニホンモモンガは九州では主に九州中央山地に生息していますが、最近の生息情報は不足しています。今回の撮影成功で、九州における新たな生息地がみつかりました。
- ・九州内のニホンモモンガやニホンリスの目撃情報を求めています。

【用語解説】

- ・ニホンモモンガは齧歯目リス科に属する日本固有の野生動物で、熊本県と宮崎県のレッドデータブックで絶滅危惧 IB 類に区分される絶滅危惧種です。昨年、熊本県と宮崎県で約 30 年ぶりに生息が確認されました。

図，写真

宮崎県椎葉村において自動撮影カメラで撮影されたニホンモモンガ（撮影日：2008 年 8 月 31 日）と調査地のおよその位置。





その他の記載事項

- (1) 環境変化にともなう野生生物の遺伝的多様性および種多様性の変動要因解明 (イイb10101)
- (2) 共同研究相手：なし
- (3) 「自動撮影カメラで記録された宮崎県椎葉村のニホンモモンガ」, 安田雅俊ほか, 熊本野生生物研究会誌, 5号 (2009年) 予定
- (4) 研究推進責任者：大河内勇研究コーディネータ (生物多様性・森林被害担当)
- (5) 研究担当者：九州支所森林動物研究グループ 主任研究員 安田雅俊

Tel 096-343-3168/Fax 096-344-5054

Email myasuda@affrc.go.jp